



レガシー開設

5年

2026

2026年度 NPO法人プライドハウス東京

協賛プログラム説明資料

2025年12月1日

目次 / Table of Contents

1. プライドハウス東京について	p.3
2. プライドハウス東京レガシーについて	p.10
3. 今後のビジョン	p.13
4. 企業様との協働	p.16
5. 協賛パッケージについて	p.20
6. Pride House Tokyo	p.39
7. Pride House Tokyo Legacy	p.46
8. Our Vision	p.49
9. Collaboration with Our Sponsors	p.52
10. Our Sponsorship Packages	p.56

プライドハウス東京について



プライドハウス東京について



プライドハウス東京は様々なステークホルダーによって成り立つコンソーシアムです。協働をキーワードに、コレクティブインパクトの創出を目指します

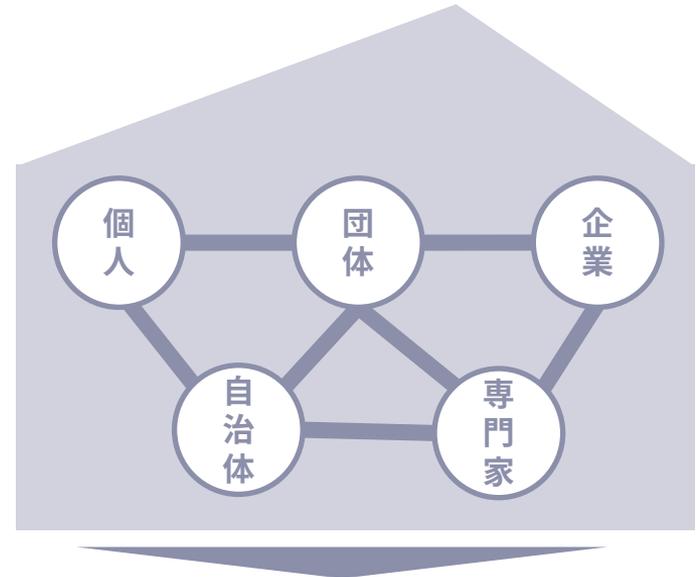
プライドハウス東京の概要



PRIDE HOUSE
TOKYO JAPAN
2020 →

「プライドハウス東京」は、セクターを超えた団体・個人・企業などが協働するコンソーシアムです。

2025年8月現在、26の団体・専門家、31の企業その他、アスリートやスポーツ関係者、自治体などがセクターを超えて連携しています。



セクターを超えた
コレクティブインパクトの創出・拡大



私たちのビジョン、ミッション、バリュー



コンソーシアム全体で描画したビジョンに向け、プライドハウス東京はミッションと提供バリューを掲げています



ビジョン（私たちが目指す世界）

LGBTQ+ & アライのコミュニティが、さまざまな制約を超えて、安心してつながり、互いに活力を得て、より良い暮らしに向けて多様なステークホルダーと協働できる、持続可能な世界。



ミッション（ビジョン実現の為の行動）

全ての人々が、性のあり方によって取り残されることなく、平等に、健やかに生きられる社会づくりに貢献し、様々な分断を超えるための希望と経験を創出。



我々が提供するバリュー

ともに
学ぶ

SOGIESCに関する調査・支援・取り組みの総合情報ポータル。コミュニティがこれまで培ってきた文化や活動を、未来に繋げるアーカイブ。

ともに
支える

いかなる性のあり方の人とも尊重する、安全な場所。困難を抱える人（特にユースや複合マイノリティなど）への適切な支援を提供する窓口。

ともに
動く

全国の団体・企業・自治体等が知恵や経験を共有し、新たな価値を生み出せる繋がり。全国の人たちが気軽に参加し、応援し合える仕組み。

プライドハウス東京は様々な事業を実施しています。実施事業を通して、国内におけるLGBTQ+コミュニティの課題解決に貢献しています

国内におけるLGBTQ+コミュニティの課題と解決策

1 大きなインパクト創出の困難さ

各地のNPOにリソースが分散しているため、大きなインパクトを生み出すことができず、**取り組み規模を拡大しにくい構造**。（各団体は自運営でも手一杯であり、連携を強化することが難しいのも現実）

解決の方向性

NPOやその他活動団体をつなぐ「場」の形成

2 情報やノウハウの分散

纏まった情報にアクセスしようとした場合にも、情報が分散しており、個別のNPOに問合せが行ってしまうなど、**ポータル的な情報提供を行う仕組みがない**。（どのようなニーズがあるのかを把握するのも困難になっている）

解決の方向性

LGBTQ+関連情報の集約・集積・共有

3 地域のスキル取得の難しさ

学びの意欲があっても、地方自治体のソーシャルワーカーやNPO担当者などが、**知識や実践スキルを強化する機会や場が限られている**。

解決の方向性

**地域格差を埋める
人材交流・育成・ノウハウ共有**

3つのチーム



プライドハウス東京では、「ともに学ぶ」「ともに支える」「ともに動く」の3つのテーマで活動するチームが存在し、コレクティブインパクトの創出を目指します

提供バリューに応じて
チームを編成。



ともに学ぶ

- 教育・多様性発信
- 文化・歴史・アーカイブ



ともに支える

- ウェルネス・サポート
- 居場所づくり（レガシー運営）



ともに動く

- アスリート発信
- 祝祭・スポーツイベント・ボランティア

🏳️ 全国規模での活動・連携



プライドハウス東京は東京のみならず、全国各地におけるパレード参加、地域団体・大学・自治体等との連携を通して全国規模でのコレクティブインパクトを創出します

全国各地における活動例

地方のコミュニティや東北のプライドパレードと連携



愛媛県初のプライドイベントに出展。東北のプライドパレードを応援するキャンペーンを実施し、地方のLGBTQ+の声や課題を共有し支援の輪を広げていきました。

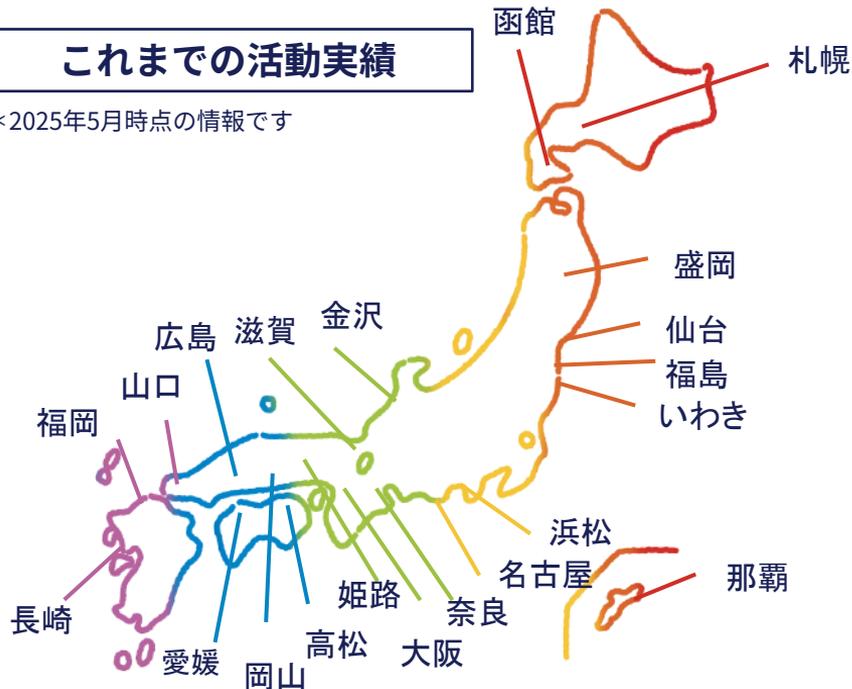
大学関係者・学生によるシンポジウムに協力



大学ダイバーシティアライアンス(UDA)を中心によるシンポジウムに協力。特に大学と地域の連携による実践紹介を共有し、ユース世代を含めた居場所づくりについて意見交換を図りました。

これまでの活動実績

*2025年5月時点の情報です



🏳️ 世界規模での活動・連携



プライドハウス東京はパリ2024夏季オリンピックなど、国外の主要なイベント・団体とも連携をしており、国際的なインパクトも創出しています

プライドハウスパリとの連携



パリ2024夏季オリンピックのオープニングイベントにてプライドハウスパリ（パリ2024夏季オリンピックに合わせて設立された団体）に記念の旗を贈呈しました。また、翌日30日は「大規模スポーツ大会を通じたLGBTQ+の権利運動の促進」と「プライドハウスに期待される役割」をテーマに、プライドハウスパリの共同代表ジェレミーさんとプライドハウスインターナショナルのエミーさんを招き、トークショーを実施しました。

その他海外団体との連携 (2020-2025)

団体名	国	連携内容
UNAIDS (国連合同エイズ計画)	スイス	プライドハウス東京メンバーと日本のHIV/AIDSを取り巻く環境について意見交換
駐日米国大使館	米国	バイデン政権下のアメリカ国務省LGBTQ+担当特使がプライドハウス東京を訪問
英国外務省	英国	英国外務省からの助成金を受けてユースのスタディツアーを実施
プライドハウスインターナショナル	スコットランド	世界水泳選手権2023福岡大会に、プライドハウス福岡を共同で設立

プライドハウス東京レガシーについて

プライドハウス東京レガシーについて



プライドハウス東京レガシーはプライドハウス東京が設置・運営する常設の大型総合LGBTQ+センターです。情報発信、居場所づくり、相談窓口の設置が主な目的です



プライドハウス東京レガシーとは？

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるタイミングを契機と捉え、国際カミングアウト・デーである2020年10月11日(日)に、**日本で初めてとなる常設の大型総合LGBTQ+センター『プライドハウス東京レガシー』**を、東京都新宿区にオープンしました。

LGBTQ+などの性的マイノリティ（以下LGBTQ+）に関する情報発信を行うホスピタリティ施設を通じて、多様性に関する様々なイベントやコンテンツを提供することを目指しています。

プライドハウス東京レガシーで出来ること



居場所

- ぼーっとする
- 待ち合わせ



交流

- 職員と会話
- 来館者間交流



情報収集

- 書籍・雑誌の
閲覧



設備利用

- 宿題や作業
- 相談
- など...

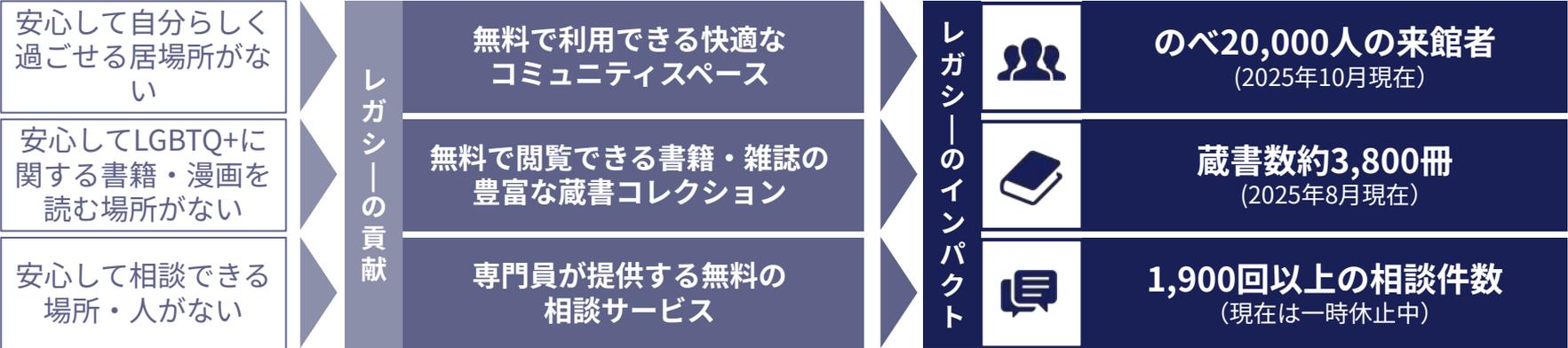


レガシーのインパクト



プライドハウス東京レガシーは国内初のLGBTQ+常設大型総合施設として、継続して使用できる施設や相談サービスを提供しています

レガシーが解決できる課題・インパクト






詳細については
プライドハウス
東京のHPを参照

*注：プライドハウス東京レガシーは月～火、金～日にて、13:00-19:00にてオープン。

今後のビジョン



2026～2028年度までの重点項目



プライドハウス東京は2026年度から2028年度にかけて、コンソーシアムの活動の軸となる3つの重点項目を掲げ、活動を進めています

2028年度までの重点項目

1

居場所運営体制の継続と安定化

LGBTQ+当事者およびその周囲の人々にとって、安心して立ち寄れる「居場所」であるプライドハウス東京レガシーの継続的な運営は、私たちの核です。

これまで実施してきた事業の見直しと新たな事業の検討に基づいて、今後の相談支援、交流、情報提供、学びの機会を多層的に展開し、LGBTQ+関連団体・行政・企業・個人との協働によって、財政基盤と運営体制の両面での安定化を図ります。

2

多様なセクターとの連携強化

今もなおLGBTQ+の情報格差や支援格差が残る中、**国内外の団体との協働によるネットワークづくり**を引き続き推進します。

企業・自治体・教育機関・医療福祉機関・スポーツ関連機関などとの連携を通じ、**地域に根ざした多様性推進モデルの共創**を目指します。

3

コンソーシアムとしての深化と戦略的連携

「ともに学ぶ・支える・動く」を体現するプラットフォームとして、NPO・企業・行政・研究者・スポーツ関係者など多様な立場の連携をさらに深化させます。

個別の取り組みだけでなく、横断型・戦略的な協働を可能とする体制を整え、社会全体への波及力を高めていきます。



ベンチマークとなる社会的動き



プライドハウス東京コンソーシアムが参加・貢献できる世界的スポーツ大会や社会的イベントは、これからも数多く予定されています

今年



年	2025	2026	2027	2028	2029	2030
主要な動き	世界陸上 デフリンピック	婚姻の平等訴訟最 高裁判決 冬季五輪（伊） アジア競技大会	ワールドマスター ズゲームズ	夏季五輪（米） 衆議院議員選挙 米国大統領選挙	アジア冬季競技大 会	冬季五輪（伊） SDGs終了
 動向		重点項目に沿った活動 <ul style="list-style-type: none"> 居場所運営体制の継続と安定化 多様なセクターとの連携強化 コンソーシアムとしての深化と戦略的連携 			学習指導要領（小中高）・改訂 2030年～導入	

企業様との協働



協賛企業様との協働



プライドハウス東京は社会における様々なステークホルダーと共にコレクティブインパクトを創出することを目指し発足したため、企業様と重点的に協働しています

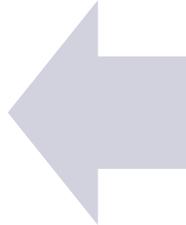


プライドハウス東京

- LGBTQ+・DEIに関する専門知識
- 各地のNPOや支援団体・有識者・自治体など広範囲なネットワーク
- レガシーという「ハブ」的な居場所
- 協賛企業間の情報共有やコミュニティの組成



企業様



- 業界・セクターに関する専門知識・スキル
- PHT活動全般に対する支援・リソース提供
- 社内のLGBTQ+・DEI施策を推進したい想い
- 社外に対し企業活動を通じて社会的インパクトを創出したい想い



社会的要請の高い施設や相談窓口を運営



社会的インパクトの高い協働企画の実施とPR



社内外への社会的インパクトを創出



協賛企業様のコミュニティ作り



取組の一つとして、プライドハウス東京ERGを運営しています。協賛企業様のコミュニティであるERGでは、他企業との交流や、合同企画の立案・実施、ボランティア活動への参加が可能です

ERGとは？

ERGは「Employee Resource Group」の略で、_プライドハウス東京に協賛いただいている企業のグループを「プライドハウス東京ERG」と呼んでいます。年間を通じて様々な活動をご一緒しています。

ERGでできる事

月次定例会



協賛企業様が参加できる定例会をオンライン・現地で実施しています。



ERG合同企画

ERGとして社会的インパクトの高いプロジェクトを毎年1回企画しています。

情報交換



企業様同士でのベストプラクティスや課題共有を通じ、実体に基づいた具体的な情報交換の場を提供しています。



ボランティア活動

各地プライドパレードなど、弊団体を通して協賛企業様で働く社員の皆様が参加できる機会を提供いたします。

**業界を超えたコネクション作りが可能な上、
ボランティア活動の機会を従業員に提供することが可能です**

東京レインボープライドをはじめ、国内の各種イベントにて、協賛企業の皆様にボランティアサポートをいただいております

ボランティアサポートを頂いたイベントの例

24年6月



オリパラ・スポーツ分野 メディアブリーフィング

- ・パリオリンピックに向けたメディアへの勉強会
- ・懇親会の開催

25年6月



Tokyo Pride 2025

- ・弊団体のブース設置
- ・協賛企業様に向けボランティア機会の創出

25年6月



SHIBUYA MODI RAINBOW DAYS

- ・渋谷モディにて共同出店
- ・協賛企業様に向けボランティア機会の創出

ERG企画参加者の声

活動に参加してみて、改めて自分の知らない情報や価値観に触れられた。(保険会社)

普段見ることのない角度でオリンピックについて考えることができた時間だった。(医薬品会社)

スタジアムでの挨拶機会もあり、楽しい時間を過ごすことができた。(保険会社)

協賛パッケージについて

協賛パッケージ



2026年度では、5つの協賛パッケージをご用意しています。社会的インパクトを共同で創出できる協働プロジェクトは、「プラチナ（選択式）」パッケージから実施が可能です

	シルバー	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド	レインボー
値段（万円）税別	30	50	100	200	300
協働プロジェクト	なし	なし	選択式※（1件）	1件	1件
スポットコンサルティング	1回まで	2回まで	3回まで	6回まで	6回まで
社内研修会	なし	選択式※	選択式※（2回）	1回	1回
レガシー利用権（休館日で調整）	なし	選択式※	1回	1回	2回
ロゴ・社名露出	最小	小	中	大	特大
特別動画の配信	あり	あり	あり	あり	あり
ERG参加権	あり	あり	あり	あり	あり
報告書送付	あり	あり	あり	あり	あり

※選択式＝社内研修会またはレガシー利用権、いずれかをお選びいただけます。



協賛パッケージの補足説明 (1/3)



協働プロジェクトの概要

貴社と弊団体のリソース※を持ち寄り、社会インパクト性のある企画を共同立案・実行します。貴社が持つ「社会課題への想い」を尊重しながら、様々な媒体で企画を実現させます

備考

- ダイヤモンドとプラチナのプロジェクトには弊団体のスタッフが1名、レインボーのプロジェクトには弊団体のスタッフが2名ついてプロジェクトの実現のお手伝いをいたします。1件あたりMTGは6回程度を想定しております。
- 可能な限り柔軟にご要望にお応えいたしますが、リソースに限りがあるため、ご希望内容によっては、追加の費用負担やサポート内容の変更をお願いする場合がございます。（*PHTチームの提供できるリソースの種類（当事者目線からのアイデア出し／助言／アドバイス／監修（社内向け資料等））

スポットコンサルティング

貴社で特定された課題やニーズに対して、弊団体の専門家が短時間でコンサルティングを提供いたします。施策のアドバイス他、社内広報物やポリシーの内容監修など幅広い助言が可能です



協賛パッケージの補足説明 (2/3)



社内研修

貴社のニーズに合わせ、代表が直接貴社に伺い（オンラインの実施でも可）、研修会を実施します。

備考

- ヒューマンライブラリ（1-2名）の実施も、レインボーから承っております。
- 代表以外の方に研修を依頼したい場合、当該講師の標準的な研修費を参考に追加費用をいただく場合があります。
- 複数スピーカーのリクエストがある場合は、別途費用を申し受けます。

レガシー利用権

原則として、休館日の水曜・木曜、レガシー施設をご利用いただけます（概ね4時間）。レガシーのオープン時間外での実施になるため、スタッフが最低1名つきます。準備片付け含めて4時間以上になる場合は、スタッフの稼働費についてご相談させていただけますと幸いです。休館日以外での利用ご希望の場合はご相談ください。

これまでの使用例

- A社：映画上映会。企画・上映は企業様ご担当者。飲食をしながら映画の上映。その後懇談会（所要時間準備片付け含め4時間。貸出可能機器：マイク4本・スピーカー、大型モニター、着席で約30名）
- B社、C社、D社：オンラインイベントの実施。協働事業をレガシー利用券を活用してレガシーで実施。PHTは企画・登壇なども参画（所要時間は準備片付け含め4時間）



協賛パッケージの補足説明 (3/3)



特別動画の配信

年に2回、社内研修や勉強会に活用していただける特別動画配信をいたします。
協賛企業様の従業員の方はどなたでもご視聴いただけます。

2024年に提供した特別動画

- 「パリオリパラ直前企画 改めてプライドハウスとは」 (6月)
- 「読書の秋 今読みたいこの一冊 LGBTQ+ブックトーク」 (11月)

2025年に提供した特別動画

- 「LGBTQ+とSOGIについての基礎知識」 (8月-10月)



事業スポンサー

その他、事業スポンサーも単発開催 (10万円～) から各種お受けしています。
ご希望の場合は、お知らせください。

例) 事業例として：ふれあい交流会の実施、トランスデーの実施、いのちの相談協賛 等

協働プロジェクトの事例 (1/4)



オルガノン株式会社

修学旅行生プライドハウス東京レガシー訪問対応

協賛企業のオルガノン株式会社さま、JTB盛岡支店教育営業チームのみなさまのご協力を得て、プライドハウス東京レガシーでスタディツアーを実施しました。プライドハウス東京やレガシーの紹介の後に、オルガノンさまにも会社の紹介をしていただきました。

グループワークとして、「共生社会の実現のためにできることは何か？」を話し合いました。オルガノン株式会社の方が、生徒さんの各グループにファシリテーターとして参加しました。社員の方からは「LGBTQ+について初めて学ぶ・考える機会を提供できてよかった」等の声をいただきました。生徒さんからは「LGBTQ+の方と会ったことも、実体験を伺うことも今までなかったので、とても勉強・刺激になりました。ありがとうございました」との声をいただきました。

協働プロジェクトの事例 (2/4)



その後、グループの皆さんの活動が進み、社内でLGBTQ+をテーマにした映画上映会の実現につながっています。

ギリアド・サイエンズ株式会社

共同ワークショップ

ギリアド・サイエンズ株式会社様と共に、従業員リソースグループ「PRIDE ALLIANCE」の皆さんとのワークショップを実施いたしました。

弊団体は内容のご相談や助言、当日参加、グループディスカッションでの意見交換を担当しました。

今後「PRIDE ALLIANCE」として会社の強みを生かしてどんなアクションをしていきたいか、参加者同士がざっくりばらんに意見交換し、PHTのメンバーからもアドバイスをさせていただきました。

当事者の思いに寄り添いながらアイデア出しや意見交換ができた点を評価いただきました。

協働プロジェクトの事例 (3/4)

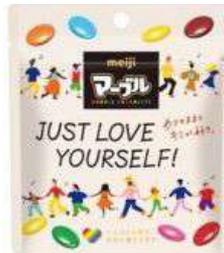
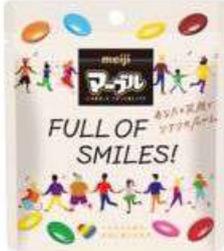


株式会社明治

マーブルパウチダイバーシティパッケージ

「多様な価値観・キモチに寄り添い誰もが楽しめるバレンタインを目指して」、数量限定の「マーブルパウチダイバーシティパッケージ」の開発に協力しました。PHTはアイデア出しから当事者視点での助言、監修をサポートしました。

ERGに参加する他の企業様でも協業イベント等でこのチョコレートが活用される機会があり、企業の枠を超えて広く展開されました。

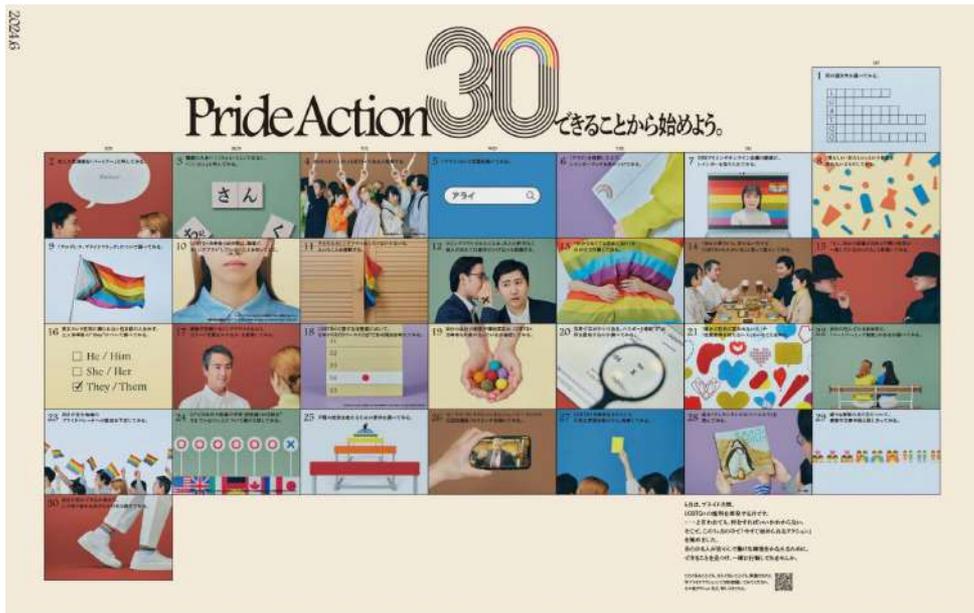




協働プロジェクトの事例 (4/4)



2024.6



パナソニック コネクト株式会社

「Pride Action30」プロジェクト

パナソニック コネクト株式会社さまとPHTが企画、20の企業・団体が連携したプロジェクト。PHTは当事者視点からの企画助言、監修を担当。

本企画は日経新聞への広告掲載を通して広く社会に訴求されました（日経広告賞2024 パーパス・ESG部門最優秀賞受賞）。

2025年にも第2弾が実施され、協賛企業の数も65社と3倍以上に増加。早くも2026年のプロジェクトもスタート！





その他の協働プロジェクト事例



パーソルキャリア株式会社様

人材業界で働く方々を対象に「人材業界のアライシップ向上会議」を開催。株式会社JobRainbow、認定NPO法人ReBitの協力も得て、講演、ゲスト対談、意見交換をしました（写真）。

アクセント株式会社様

「コレクティブインパクトの創出に向けて～LGBTQ+の課題に取り組むNPOと企業の協働事業の裏側を語る～」と題した合同セミナーを開催しました。

その他の協働プロジェクト事例

- 「LGBTQ+アライのためのハンドブック」監修
- 「誰もが自分らしい人生を歩むために知っておくべきお金の話とは」オンラインイベント開催
- 「時を超えて、成長する家族 多様な家族のあり方が尊重される未来に向かって」スライドムービー作成

参画チームについて



協賛企業様には各チームにご参画いただいています。ご協賛の際、ご希望の参画チームをご教示ください。どのチームが良いかご相談をお受けすることも可能です

プライドハウス東京のチーム一覧



ともに学ぶ

- 教育・多様性発信
- 文化・歴史・アーカイブ



ともに支える

- ウェルネス・サポート
- 居場所づくり (レガシー運営)



ともに動く

- スリート発信
- 祝祭・スポーツイベント・ボランティア

● 「ともに学ぶ」「ともに支える」「ともに動く」のいずれかに参画いただけます。

● 御社の課題にマッチするテーマをお選びいただけます。

協賛のメリット



プライドハウス東京へ協賛すること、コンソーシアムに加入することは、長期的な企業のPRや研修コストの削減など、様々なメリットがあります

対外的なメリット

メディアへの露出

協働プロジェクトについてのメディア掲載実績多数

先進DEI企業であることのイメージ付け

LGBTQ+に関して先進的な企業であることのアピールが可能

長期的なPR

プライドハウス東京は単発的なイベントではなく長期的・継続的なPRが可能

対内的なメリット

研修コストの削減

協賛パッケージに付随する研修を利用し、コスト削減

セクターを超えた企業とベストプラクティスの交換

その他企業と合同で研修会を行うことも可能。企業の枠を超えた横断的な活動ができる。

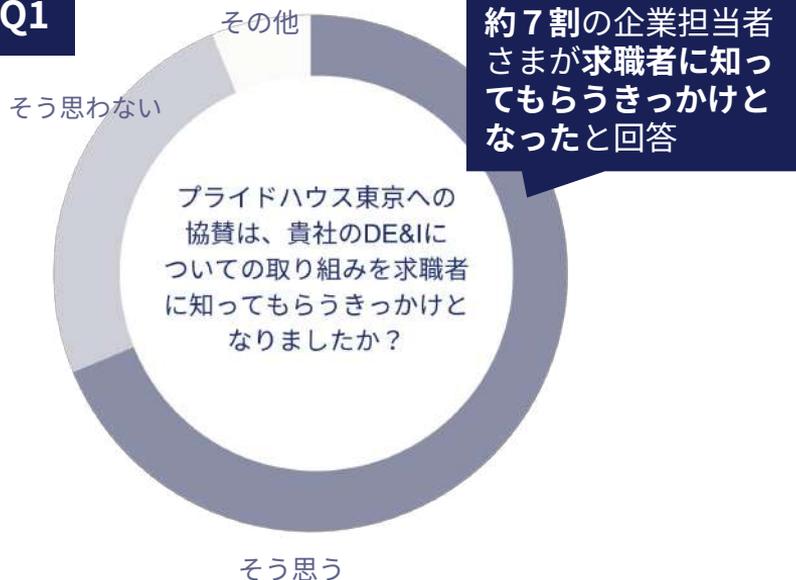
従業員へ社会貢献の機会提供

従業員へボランティアや社会貢献の機会を提供可能

多くの協賛企業様から、弊団体への協賛は「求職者に知ってもらうきっかけ」「他企業のDEI施策について学ぶきっかけになった」「取材の問い合わせが増えた」とお声をいただいています

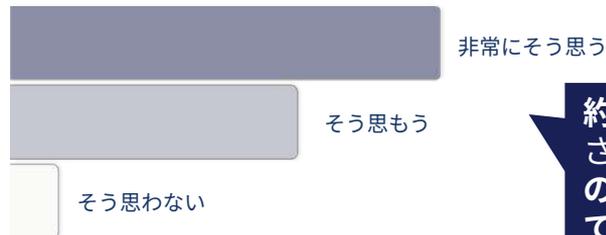
弊団体実施のアンケート結果

Q1



Q2

プライドハウス東京に協賛したことが、他参加企業のDE&I施策について学ぶきっかけにもなったと思いますか？



約9割の企業担当者が他の参加企業のDE&I施策について学ぶきっかけとなったと回答

2025年度の協賛企業



2025年度では、30社以上の企業にプライドハウス東京へご協賛いただきました。数多くの協賛企業さまが、PRIDE指標でレインボーやゴールドを受賞されています

Rainbow							
Diamond		 MS&ADインシュアランスグループ	 Here for her health			 東京海上ホールディングス	
							 健康にアイデアを
Gold		 大日本印刷		 パーソルキャリア			 
Silver					 美登総合リース株式会社	 Meiji Seika ファルマ株式会社	

公式ガイドブック



毎年6,000部以上発行している公式ガイドブック（公式サイトDL数2,178：2023.11～2024.10）に貴社のロゴ・広告が掲載されます。レガシーや日本各地のイベントで配布されます

2025年度のガイドブック



協賛パッケージに応じて、特集ページや対談ページを作成することも可能です。広告のサイズも、協賛パッケージによって異なります。





メディア露出



プライドハウス東京は、国内外のメディアで紹介されています。協賛により、LGBTQ+に対して積極的にアクションを起こしている企業というイメージアップが期待できます

データハイライト



掲載メディア一覧

毎日新聞、NHK、朝日新聞社、テレビ東京、ハフポスト、東京新聞、 TBS、共同通信、BuzzFeed、ロイター通信、日本経済新聞、北海道新聞



ご検討いただき、有難うございます。

申込締切:2026年3月31日(火)
※締切についてはご相談に応じます。

お申し込み予定の方は、sponsor@pridehouse.jp までご連絡ください。



レガシー開設

5年

ENGLISH



Pride House Tokyo, FY2026

Sponsorship Program Guide

Pride House Tokyo



Pride House Tokyo's Overview



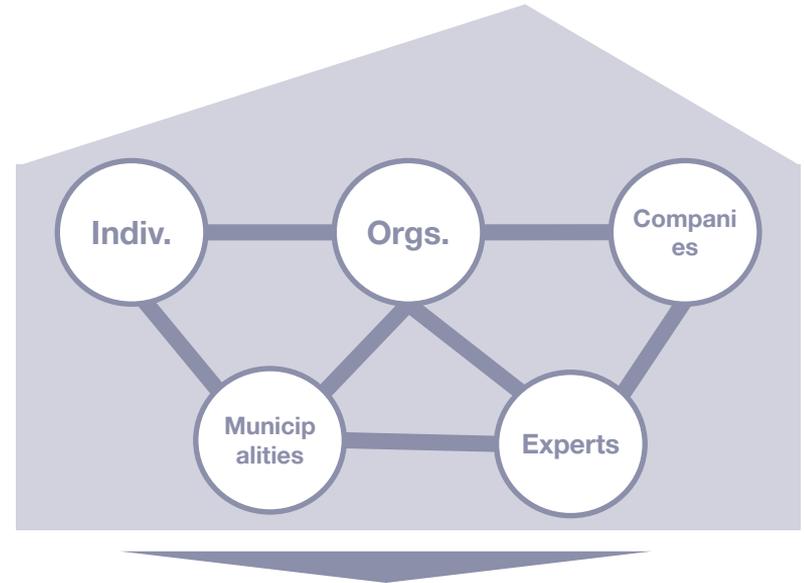
Pride House Tokyo is a consortium project comprised of diverse stakeholders. Built on the concept of collaboration, we strive for collective impact.

Pride House Tokyo Overview



Pride House Tokyo is a project that goes beyond sectoral boundaries. Our consortium includes organizations, individuals, and companies.

As of Aug. 2025, this includes collaboration between 26 organizations and experts, 31 companies, athletes and members of the sports industry, and municipalities.



Creating and Expanding Collective Impact Across Sectors

Our Vision, Mission, and Values



To accomplish a vision shared by our consortium at-large, we hold up the following values:



Vision (the world we strive for)

We look to establish sustainable safer places where LGBTQ+ and ally communities can foster genuine interactions that empower, support, and boost collaboration amongst us all.



Mission (how we will achieve our vision)

We strive to contribute to the creation of an equal society where no one is left behind, regardless of their SOGIESC (sexual orientation, gender identity, gender expression, and sex characteristics). We aspire to create hope and experiences that can transcend boundaries.



Our Values

Learning Together

A comprehensive information portal for research, support, and initiatives related to SOGIESC. An archive aimed at connecting the culture and activities of the community up until now, and connecting them to the future.

Mutual Support

Respecting people of all SOGIESC, providing a safe environment, supporting those in need (particularly youth and double minorities) and providing access to appropriate support.

Working Together

Organizations, companies, municipalities, etc. across the country can share knowledge, create new values, and share a structure to support each other



Key Social Issues We Address



We implement a wide range of programs and initiatives to address the challenges faced by LGBTQ+ communities in Japan.

Challenges for LGBTQ+ Communities in Japan and How We Address Them

1

Difficulty in Creating Large-Scale Impact

Because resources are dispersed across many local NPOs, it is challenging to generate large-scale impact. In reality, most organizations are already at full capacity managing their own operations, making collaboration difficult.

Our Proposed Solution

Creating a shared “space” that connects NPOs and other community organizations.

2

Dispersed Information and Know-How

Even when people try to access consolidated information, resources remain dispersed, often leading inquiries to individual NPOs. There is no portal providing centralized information, making it difficult to understand the community’s needs.

Our Proposed Solution

Centralization and Sharing of LGBTQ+ Information

3

Limited Opportunities for Skill Development in Regions

Even when there is a strong desire to learn, social workers in local governments and staff at regional NPOs often have limited access to opportunities or platforms to strengthen their knowledge and practical skills.

Our Proposed Solution

Bridging Regional Gaps through Talent Exchange, Capacity Building, and Knowledge Sharing



Our Three Teams



At Pride House Tokyo, we work in three teams, based on theme: Learning Together, Mutual Support, and Working Together. We work together for collective impact.

Our teams are created based on our main values.



Learning Together

- Education & Diversity Awareness
- Culture, History, Archives



Mutual Support

- Wellness Support
- Creating Safer Spaces



Working Together

- Athletes' Messages
- Festivals, Sporting Events, Volunteer



Collaboration on a Nationwide Level



We aim to create a collective impact on a nationwide scale through collaboration with local organizations, outreach to Pride parades in regions across the country, and more.

Examples of Our Projects

Collaboration with Local Communities: Pride Parades



We participated in Ehime Prefecture's first Pride event. We also launched a campaign in support of the Pride parades in the Tohoku region. Through these efforts, we helped share the voices and challenges of LGBTQ+ people in local communities.

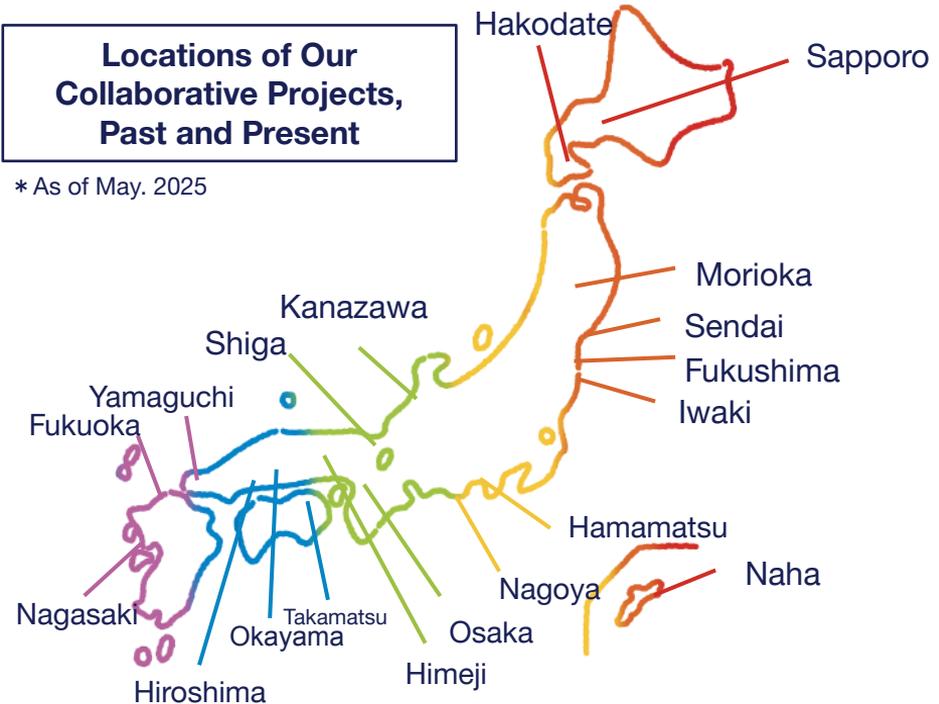
Partnerships with Student Communities: Symposiums



We partnered with the University Diversity Alliance (UDA) in organizing a symposium, where we presented case studies of university–community collaborations and exchanged perspectives on building inclusive environments for youth.

Locations of Our Collaborative Projects, Past and Present

* As of May, 2025





Global Activities and Collaborations



We work with major international events and organizations, such as the Paris 2024 Summer Olympics, generating meaningful impact worldwide.

Working with Pride House Paris



During the opening event of the Paris 2024 Summer Olympics, Pride House Tokyo presented a commemorative flag to Pride House Paris, the organization established for the Games. The next day, on July 30, we held a talk session with Jeremy, Co-Director of Pride House Paris, and Emy from Pride House International, focusing on "Advancing LGBTQ+ Rights through Major Sports Events" and "The Role Expected of Pride Houses."

Other International Collaborations (2020-2025)

Organization	Country	Content
UNAIDS (The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS)	Switzerland	Engaging in discussions on the social and policy environment surrounding HIV/AIDS in Japan.
Embassy of the United States of America in Japan	U.S.A.	Under the Biden administration, the U.S. Special Envoy for LGBTQ+ rights visited us.
UK Foreign, Commonwealth & Development Office	U.K.	Through a grant, we organized a study tour to the U.K. for LGBTQ+ youth.
Pride House International	Scotland	Jointly-establishing Pride House Fukuoka during the World Aquatics Championships 2023 in Fukuoka.

Pride House Tokyo Legacy



Pride House Tokyo Legacy: Overview



Pride House Tokyo Legacy is a comprehensive center established by and operated by Pride House Tokyo, working on information dissemination, creating safer spaces, and providing counselling services.



What is Pride House Tokyo Legacy?

Taking the timing of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games as an opportunity, Pride House Tokyo Legacy, **Japan's first non-temporary, large-scale, comprehensive LGBTQ+ center**, opened in Shinjuku-ku, Tokyo, on Sunday, October 11, 2020, International Coming Out Day. The center aims to provide a variety of diversity-related events and content through disseminating information related to LGBTQ+.

Things You Can Do at Legacy



Use our space to...

- Relax, space out!
- Meet up with friends



Chat

- Talk with staff or other visitors



Gather Information

- View books, magazines, etc.



Facilities

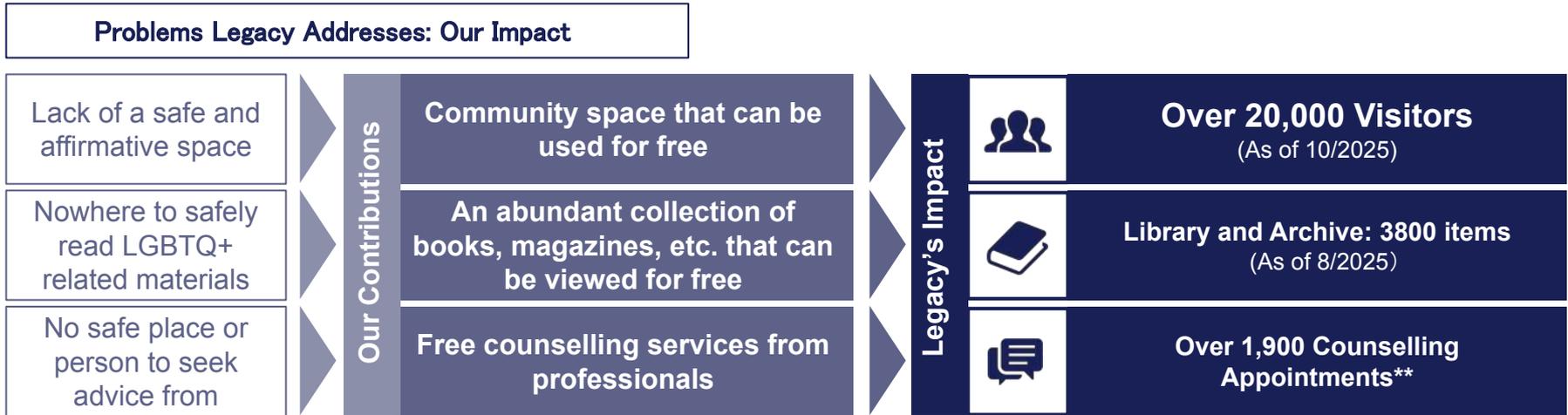
- Counselling
- Wi-fi for homework, etc.



Legacy's Impact



As the first comprehensive LGBTQ+ centre in the country, we provide a space and services and that can continuously be used.



Visit our site for details.

*Pride House Tokyo is open Friday through Tuesday from 13:00-19:00
 ** Currently, some of our counselling services are temporarily closed.

Our Vision



Primary Focus Areas for FY26–28



We have identified three core focus areas that will serve as the foundation of the Consortium's activities from FY2026 through FY2028.

Priorities through the 2028 Fiscal Year

1 Stabilizing Our Operations as a Physical Space

Legacy's operations as a facility include counseling, meetups, and its library. To continue existing as a physical space, we hope to strengthen our foundational structure, increase collaboration and cooperation with government, and strengthen our corporate sponsorships and monthly supporter program.

2 Strengthening Cross-Sector Partnerships

Access to LGBTQ+ information and support still varies. Pride House Tokyo will keep building networks with partners in Japan and abroad.

Working with companies, local governments, schools, service providers, and sports organizations, we aim to co-create community-based models that advance diversity and inclusion.

3 Strengthening the Functions of the Consortium

We will strengthen our activities and cross-sectoral activities based on our Learning, Supporting, and Working Together Teams, through which we hope to enhance collaboration with diverse sectors such as NPOs and corporations. We aim to achieve our mission through public-private-industry-academia collaboration that transcends the boundaries of the consortium.



Key Social Movements to Benchmark



Many global sporting events and significant social initiatives are scheduled in the coming years, offering continued opportunities for the Pride House Tokyo Consortium to make meaningful contributions.

This Year



Year	2025	2026	2027	2028	2029	2030
Significant Events	<ul style="list-style-type: none"> World Athletic Championships Deaf Olympics 	<ul style="list-style-type: none"> Supreme Court Ruling on Same-sex Marriage Winter Olympics (Italy) Aichi-Nagoya Asian Games 	<ul style="list-style-type: none"> World Masters Games 	<ul style="list-style-type: none"> Summer Olympics (U.S.A.) House of Representatives Election (Japan) U.S. Presidential Election 	<ul style="list-style-type: none"> Asian Winter Games 	<ul style="list-style-type: none"> Winter Olympics (France) Deadline for SDGs
 Action		<div style="background-color: #1a3d54; color: white; padding: 10px;"> <p>Activities Aligned with Our Priorities</p> <ul style="list-style-type: none"> Stabilizing Our Operations as a Physical Space Solidarity with the LGBTQ+ Community Nationwide Strengthening the Functions of the Consortium </div>				

Collaboration with Our Sponsors



Collaboration with Our Sponsors



We were founded with the aim of creating collective impact with a wide range of stakeholders. For this reason, we place particular importance on close collaboration with corporate partners.

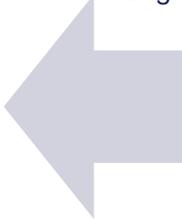


Pride House Tokyo

- Expertise in LGBTQ+ and DEI issues
- A broad network of local NPOs, support organizations, experts, and municipalities
- Legacy as a central hub for community connection
- Opportunities for information sharing and community building among sponsor companies



**Sponsor
Companies**



- Industry- and sector-specific expertise and skills
- Support and resources for Pride House Tokyo's activities
- A commitment to advancing LGBTQ+ and DEI initiatives within their organizations
- A desire to create social impact through business practices and external engagement



Operating community spaces and counseling services that address urgent social needs



Co-creation of high-impact collaborative initiatives and PR



Social impact both within and beyond the company



Building Community Among Sponsors



As one of our key initiatives, we operate our ERG, a community for our corporate sponsors that offers opportunities for networking, joint project development, and participation in volunteer activities.

What is an ERG?

ERG stands for Employee Resource Group. Within Pride House Tokyo, we refer to the group formed by our sponsor companies. Throughout the year, we collaborate with participating companies on a wide range of activities.

What You Can Do Through the ERG

Monthly Meetings



We hold regular monthly meetings, available both online and in person, for employees of sponsor companies.

Information Sharing



We provide a platform for sponsors to exchange best practices, discuss challenges, and share practical, experience-based insights.

Joint ERG Initiatives



Each year, the ERG plans and implements a high-impact collaborative project that contributes to broader social change.

Volunteer Opportunities



Employees of sponsor companies can participate in volunteer activities such as joining local Pride parades across different regions.

Participating in the ERG enables companies to build cross-industry connections while also providing employees with meaningful volunteer engagement opportunities.



Our ERG's Initiatives



At Tokyo Rainbow Pride and various other events across Japan, we receive volunteer support from our corporate sponsors.

Examples of Events Supported by Volunteers

06/2024



Olympic and Sports Media Briefing

- Briefing session for media in preparation for the Paris Olympics
- Dinner/networking event

06/2025



Tokyo Pride 2025

- Operating Pride House Tokyo booths at events assisted by volunteers from our sponsors

06/2025



SHIBUYA MODI RAINBOW DAYS

- Joint pop-up booth at Shibuya MODI, offering volunteer opportunities from our sponsors

Testimonials from ERG Participants

“Participating allowed me to encounter new information and values I was unaware of.”
(Insurance Company)

“It was an opportunity to think about the Olympics from a perspective I don't usually consider.” (Pharmaceutical Company)

“There were also opportunities for meet-and-greet at the stadium, making it an enjoyable time.” (Insurance Company)

Our Sponsorship Packages



Sponsorship Packages



For FY2026, we offer five sponsorship packages. Collaborative projects that generate social impact can be implemented starting from the Platinum (selectable) package.

	Silver	Gold	Platinum	Diamond	Rainbow
Price (10,000 JPY, tax excl.)	30	50	100	200	300
Collaborative Project	None	None	Selectable* (1 project)	1 project	1 project
Spot Consulting	Up to 1 session	Up to 2 sessions	Up to 3 sessions	Up to 6 sessions	Up to 6 sessions
In-House Training	None	Selectable*	Selectable* (up to 2 sessions)	1 session	1 session
Legacy Facility Use (adjusted for closed days)	None	Selectable*	1 use	1 use	2 uses
Logo & Name Display	Minimum	Small	Medium	Large	Extra Large
Special Video Distribution	Included	Included	Included	Included	Included
ERG Participation	Included	Included	Included	Included	Included
Report Delivery	Included	Included	Included	Included	Included

*“Selectable” means you may choose either an in-house training session or access to the Legacy facility.



Notes) Our Sponsorship Packages (1/3)



Collaborative Project

By combining your company's resources* with ours, we will co-develop and implement a project with strong social-impact potential. While respecting your company's commitment to social issues, we work together to bring the project to life across a variety of platforms.

Notes

- For Diamond and Platinum projects, one Pride House Tokyo staff member will be assigned to support project implementation. For Rainbow projects, two staff members will be assigned. Each project typically includes around six meetings.
- We will accommodate your requests as flexibly as possible; however, due to limited resources, additional costs or adjustments to the support provided may be required depending on the scope of your request. *Examples of resources provided by the PHT team include: idea development from an LGBTQ+ community perspective, consultation, advice, and review of internal company materials.

Spot Consulting

Our specialists provide short-format consulting sessions tailored to the specific challenges and needs identified within your company. We offer a wide range of support, from advising on initiatives to reviewing internal communications materials and policies.



Notes) Our Sponsorship Packages (2/3)



In-House Training

Our Chair will conduct a training session tailored to your company's needs, either by visiting your office or delivering the session online.

Notes

- Human Library sessions (1–2 speakers) are available starting from the Rainbow package.
- If you wish to request a trainer other than our representative, an additional fee may be required based on the standard training rate of the requested speaker.
- Additional fees will apply if you request multiple speakers.

Use of Legacy's Facilities

Legacy can be used primarily on Wednesdays and Thursdays (the days our regular operations are closed) for approx. four hours. Because this is outside our operating hours, a minimum of one of our staff members will attend. If, including time for set-up and clean-up, the event takes over four hours, we would appreciate it if you could contact us in advance regarding our staff's labour costs. Please consult with us if you wish to use Legacy on a day when we are not closed.

Previous Examples

- Company A: Movie screening, planned by a member of Company A. People drink and eat while watching the movie, followed by a discussion session (Total time, including set-up and cleaning: 4 hours)
- Company B, C, and D: The companies use their Collaborative Project and Use of Legacy's Facilities benefits to hold an Online Event. PHT plans the event and event speakers (Total time, including set-up and cleaning: 4 hours)



Notes) Our Sponsorship Packages (3/3)



Special Video Distribution

Twice a year, we provide exclusive video content that can be used for internal training sessions or study programs. All employees of sponsor companies may view these videos.

Special Videos Provided in 2024

- “What Is Pride House? — A Refresher Ahead of the Paris Olympic & Paralympic Games” (June)
- “Autumn Reading: Recommended LGBTQ+ Books” (November)

Special Videos Provided in 2025

- “Foundational Knowledge on LGBTQ+ and SOGI” (August–October)

Sponsor of Our Projects

In addition, we also accept one-time project sponsorships starting from 100,000 yen and up, depending on the type of initiative.

Please let us know if you are interested.

Examples of possible projects:

- Hosting community interaction events
- Organizing Transgender Day activities
- Sponsorship for “Life Support” counseling programs (and others)





Examples of Our Joint Projects (1/4)



Organon Japan

School Trip Visit to Pride House Tokyo Legacy

With the support of our corporate sponsor Organon Japan and the Education Sales Team at JTB's Morioka Branch, we organized a study tour at Pride House Tokyo Legacy for visiting students. After an introduction to the Legacy facility, Organon also provided an overview of their company.

As a group-work activity, students discussed the question: "What can we do to help realize an inclusive and coexistence-based society?" Staff members from Organon participated as facilitators for each student group. Organon employees shared feedback such as, "We're glad we were able to provide students with their first opportunity to learn and think about LGBTQ+ issues." Students also offered comments such as: "I had never met an LGBTQ+ person or heard about their lived experiences before. It was incredibly interesting. Thank you very much."





Examples of Our Joint Projects (2/4)



As a result, the group's activities continued to develop, leading to the successful implementation of an LGBTQ+ related film screening within the company.

Gilead Sciences, Inc.

Joint Workshop

Together with Gilead Sciences, Inc., we held a workshop with members of their Employee Resource Group, PRIDE ALLIANCE. Pride House Tokyo supported the workshop by advising on program content, participating on the day, and contributing to group discussions.

Participants engaged in open and candid conversations about the kinds of actions PRIDE ALLIANCE hopes to take in the future by leveraging the company's strengths. Members of PHT also offered input and recommendations during the discussions. We received positive feedback for facilitating idea generation and dialogue in a way that remained closely aligned with the lived experiences and perspectives of LGBTQ+ communities.



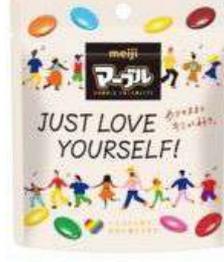
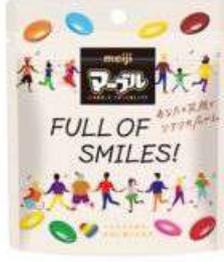
Examples of Our Joint Projects (3/4)



Meiji Co., Ltd.

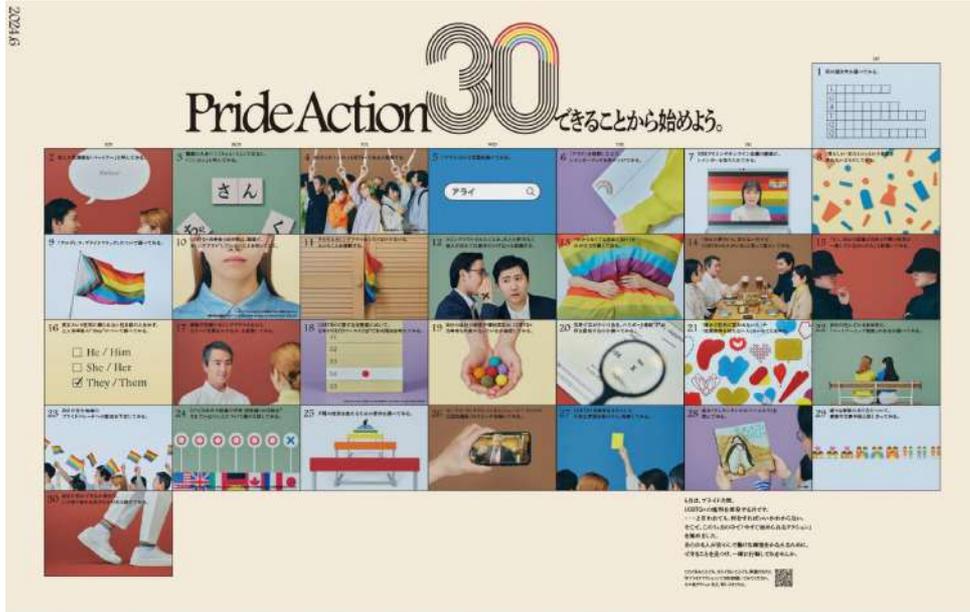
Marble Pouch Diversity Package

In line with the concept of “creating a Valentine’s Day that everyone can enjoy, one that embraces diverse values and feelings,” we collaborated with Meiji on the development of a limited-edition Marble Pouch Diversity Package. Pride House Tokyo supported the project from the idea-generation phase through community-informed advice and content review. The chocolate was also used in collaboration events held by other companies participating in the ERG, allowing the initiative to expand beyond a single company and reach a wider audience.





Examples of Our Joint Projects (4/4)



A second edition of the project was launched in 2025, with the number of participating sponsor companies increasing to 65- more than triple the previous year. Work on the 2026 project is already underway.

Panasonic Connect Co., Ltd.

Pride Action 30 Project

“Pride Action 30” is a collaborative project planned by Panasonic Connect Co., Ltd. and Pride House Tokyo, involving a partnership of 20 companies and organizations. PHT contributed by providing community-informed advice and review from an LGBTQ+ perspective.

The project achieved broad public reach through an advertisement published in the Nikkei Shimbun, and it received the 2024 Nikkei Advertising Award – Grand Prize in the Purpose & ESG Category.





Examples of Other Projects



PERSOL CAREER Co., Ltd.

We held a session titled “Advancing Allyship in the Recruitment Industry” for professionals working in the HR and staffing sector. With support from JobRainbow Inc. and the certified NPO ReBit, the program included a lecture, a guest dialogue, and a group discussion (photo).

Accenture Japan Ltd.

We co-hosted a joint seminar titled: “Creating Collective Impact: Behind the Scenes of Collaborative Projects Between LGBTQ+ Organizations and Companies.”

Other Examples of Collaborative Projects

- Supervision of the “Handbook for LGBTQ+ Allies”
- Online event: “Financial Basics to Help You Lead an Authentic Life”
- Creation of the slide-movie “Families Growing Across Time: Toward a Future Where Diverse Families Are Respected”



Participating in Our Teams



Our sponsor companies all participate in one of our teams. When you apply to be a sponsor, please share which team you wish to participate in.

Our Teams



Learning Together

- Education & Diversity Awareness
- Culture, History, Archives



Mutual Support

- Wellness Support
- Creating Safer Spaces



Working Together

- Athletes' Messages
- Festivals, Sporting Events, Volunteer

- You can participate in “Learning Together,” “Mutual Support,” or “Working Together”
- You can choose which suits your needs and thematic interests.



Sponsorship Merits



Sponsoring Pride House Tokyo or joining the consortium has many benefits, including long-term corporate PR and reduced training costs

External Benefits

Media Exposure

Our previous collaborative projects have been covered multiple times by media.

Create an Image as a Company Advanced in DEI

Create an appeal as a company advanced on LGBTQ+ issues.

Long-term PR

Pride House Tokyo is not a one-off event, but a long-term, ongoing PR opportunity

Internal Benefits

Training Cost Reduction

Reduce costs through use of the training in our sponsorship package

Exchange Best Practices Across Sectors

Engage in activities that transcend company and sectoral boundaries. For example, joint training sessions with other companies.

Opportunities for Employees to do Social Good

Can provide employees with an opportunity to contribute back to society through volunteering.



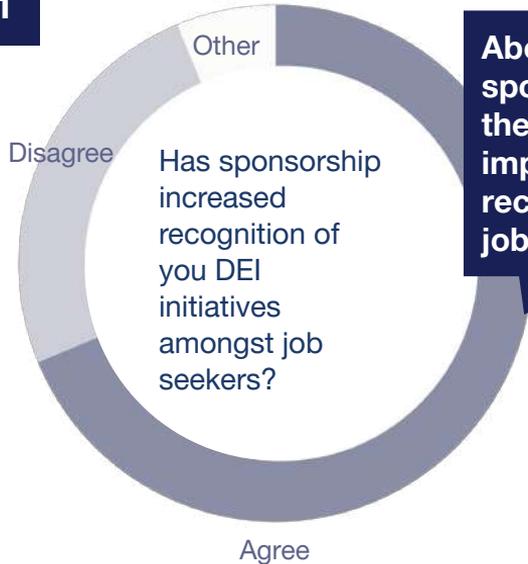
Voices from Our Corporate Sponsors



Many of our sponsors have shared that partnering with us has: “Increased visibility among job seekers” and “Provided opportunities to learn from other companies’ DEI initiatives.”

Satisfaction Survey Results

Q1



About 70% of sponsors said that the partnership improved recognition among job seekers.

Q2

Do you feel that sponsoring Pride House Tokyo has given you opportunities to learn about other participating companies’ DE&I initiatives?



About 90% of respondents indicated that sponsorship allowed them to learn from other companies’ DE&I initiatives.



Our FY2025 Sponsors



In the 2025 fiscal year, over 30 companies supported us. Many of these sponsoring companies received Rainbow or Gold awards on the PRIDE Index.

Rainbow								
Diamond		 MS&ADインシュアランスグループ	 Here for her health			 東京海上ホールディングス	      	
Gold		 大日本印刷		 パーソル キャリア				
Silver					 芙蓉総合リース株式会社	 Meiji Seika ファルマ株式会社		



Official Guidebook



Your company's logo and advertisement will be featured in our official guidebook, of which more than 6,000 copies are published each year. The guidebook is distributed at Legacy and events across Japan.

FY2025 Guidebook



Depending on the sponsorship package, it is possible to create a feature / interview page. Advertisement sizes vary according to the sponsorship package.





Media Exposure



We have been featured in domestic and international media. Sponsorship can contribute to establishing an image as a company proactive on LGBTQ+.

Highlights



100+
media reports
(2017-10/2024)



84+
media
companies
(2017-10/2024)



420,000+
visits to our
website
(2017-08/2025)



1,270,000+
YouTube views
(2017-08/2025)

Over the course of the year, we receive significant media coverage.

We can create visibility for your company's initiatives.

Previously featured in:

Mainichi Shimbun, NHK, Asahi Shimbun, TV TOKYO, HuffPost, Tokyo Shimbun, TBS, Kyodo News, BuzzFeed, Reuters, Nihon Keizai Shimbun, Hokkaido Shimbun, and more.



Thank you for your interest.
We hope to hear from you soon!

Deadline: March 31st (Tuesday), 2026

*We can respond to requests for accommodation regarding the deadline as necessary.

If you plan to apply, please contact: sponsor@pridehouse.jp



利用条件と免責事項

本資料に含まれるテキストやイラスト等のコンテンツに関する知的財産権は、特定非営利活動法人プライドハウス東京に帰属します。本資料のスキットにある登場人物やエピソードはすべて架空のものです。利用者は、本資料を非営利目的でのみ利用することができます。本資料（二次的著作物を含みます）を、その全部又は一部を問わず、営利目的、商業利益、私的な金銭的報酬のために、使用、複製、配布、アップロード、ダウンロード、販売、改変またはその他の方法で利用することはできません。本資料の利用は、利用者自身の責任において行っていただきます。プライドハウス東京は、本資料に間違いがないこと、最新の情報であること、必要な情報が漏れなく掲載されていること、誤解を招く表現でないこと、第三者の権利を侵害していないこと、利用者のニーズに適合していることなどを、一切保証しません。また、本資料に関するプライドハウス東京のウェブサイトのURLや、本資料の内容は、予告なしに変更又は削除することがあります。本資料の利用に起因して発生したトラブル等について、プライドハウス東京は、責任を負うものではありません。

※その他詳細は公式サイトをご参照ください。